

将来にわたって谷相集落で生活できる仕組みの実現を！

【類 型】 農業機械の共同利用 + 水稻作業受託

【組 織 名】 谷相地区集落営農組合
(平成21年3月設立)

【所 在】 高知県香美市香北町

【農業地域類型】 山間農業地域

【構成戸数・人数】 23人

【経営規模（令和5年度実績）】



谷相集落営農組合農舎

作業受託

・防除	6.3ha	収穫（稲刈・脱穀）	4.47ha
・乾燥調製	6.4ha	粃摺り	958袋
		米袋運搬	860袋

設立の経緯

- ・ 谷相地域は、地区外からのIターン移住者が積極的に地域活動に参加し、まとまりのある地域である。
- ・ 谷相集落協定として、中山間地域等直接支払交付金制度に取り組み、集落協定参加者の概ね8割が構成員となっている。
- ・ 平成19年12月に米の有利販売を目指すため、水稻栽培研究会が組織され、水稻の減農薬栽培に取り組み始めた。
- ・ 平成20年8月に、水稻の生産性向上と農家経営の安定化のため、農作業機械の効率的利用を目指して、作業受託組織に必要な機械や規約、料金等について検討を始めた。
- ・ 平成21年3月に集落営農組織を設立、「こうち型集落営農モデル集落」として選定された。
- ・ 水稻栽培研究会以外に、農作業部会、アジサイ栽培研究会、直販部会が設置された（直販部会は休部中）。

取組の特徴・効果

- ・ 組織として、水稻の防除、収穫、乾燥・粃摺りの作業を受託している。
- ・ 令和5年に、ハンマーナイフモアを購入し、草刈り作業の受託も開始し、耕作放棄地対策を始めた。
- ・ 組織内のオペレーターも増員し、定期的に会合も実施し、機動力を生かせる組織になった。
- ・ 主食用米として、「にこまる」、「ヒノヒカリ」、「黄金錦」等が作付けされているが、令和5年からは主食用米以外に、酒米「吟の夢」を栽培している。



【具体的な取組内容】

役員体制 組合長1名、副組合長1名、機械オペレーター担当2名、園芸品目担当1名、直販担当1名、会計1名、監事2名

谷相地区集落営農組合 《将来の姿》

- ◇ 集落ビジョンの達成
- ◇ 水稲機械類の共同所有
- ◇ 園芸品目への取り組みによる所得向上

谷相集落の
維持・発展



大阪経済大学教授による
組織活動に関する調査

農作業部会 H20年8月(設立) 作業受委託	水稲栽培研究会 H19年12月(設立) 谷相米栽培層検討 エコファーマー取り組み	アジサイ栽培研究会 H20年8月(設立) 新規園芸品目の導入検討	直販部会 H20年7月(設立) 直販向け品目導入と生産拡大
-------------------------------------	--	---	--



棚田の広がる谷相地区



狭隘なほ場の収穫風景

【主な機械・施設】

機械・施設名	能力	導入事業名等	導入年度
ラジコン動噴 (アリミツ ATC855MPR3)	40L/min、8ps、5.0MPa、3Ch	中山間地域集落営農等支援事業	H21
乾燥機 (イセキ GA100R2)	10石	中山間地域集落営農等支援事業	H21
乾燥機 (イセキ GA100R2B)	20石	中山間地域集落営農等支援事業	H22
農舎	木造平屋建 99㎡	中山間地域集落営農等支援事業	H22
籾搬送機 (タイショー WA10T-H30M2)	1,300L	集落営農・拠点ビジネス支援事業	H23
米袋リフター (LU-203)	重量制限35kg	自己資金	H25
籾摺機 (サタケ NPS450FXAM)	4インチ	自己資金	H25
軽量選別機 (サタケ NPA32BV)	600-1920kg	自己資金	H25
乾燥機 (イセキ)	21石	自己資金	H27
石抜機 (サタケ とるストーンEGA30C)	1800kg/h	自己資金	H29
コンバイン (クボタ)	2条刈 20PS	自己資金	R1
乾燥機 (サタケ)	25石	自己資金	R1
籾受ホッパー (タイショー LHG-30C)	9~13t/h	自己資金	R1
ハンマーナイフモア	8PS	自己資金	R5
農機倉庫 (パイプハウス)	6m×7.5m=45㎡	自己資金	R5
フォークリフト	1.5t	自己資金	R6
コンバイン (クボタ)	2条刈 13PS	自己資金	R6

【課題・今後の取組】

- 地域の高齢化に伴う水田の放棄地化対策(田植は個人が受託)
- 組合所有機械の修繕・更新
- 農舎等の維持、修繕
- 水路の修繕、維持管理
- 鳥獣害対策(イノシシ・シカ等、柵等の設置)
- 組織の担い手(役員、オペレーター等)の後継者確保